

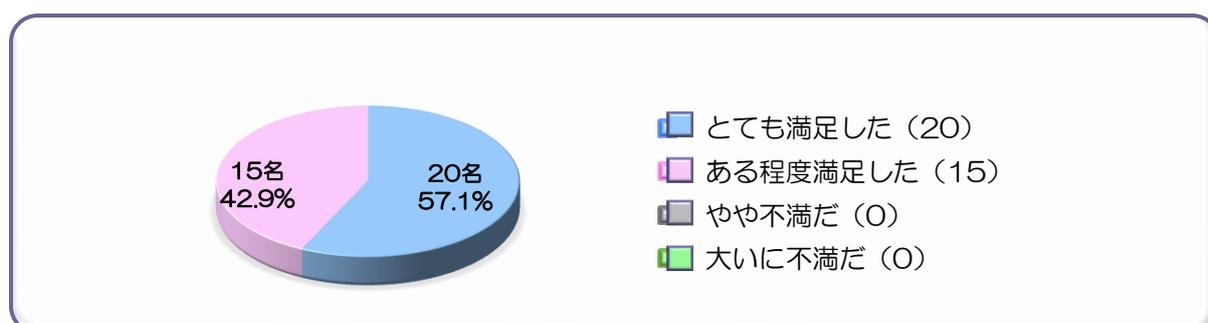
「原子力討論会イン福島高専2017」 事後アンケート結果
(平成30年1月11日開催)

纏め：米山 潔

*参加者（アンケート回収数 36）

		機械知能工学研究系工学専攻 M1	計	
学 生	就 職	原子力関連メーカー	0	38
		電 力	2	
		メーカー	5	
		研究機関	0	
		教育機関	0	
		そ の 他	6	
		未 定	2	
	進 学	19		
	未 記 入	4		

(1) 講演の内容は満足いくものでしたか？その理由は？



[とても満足した]

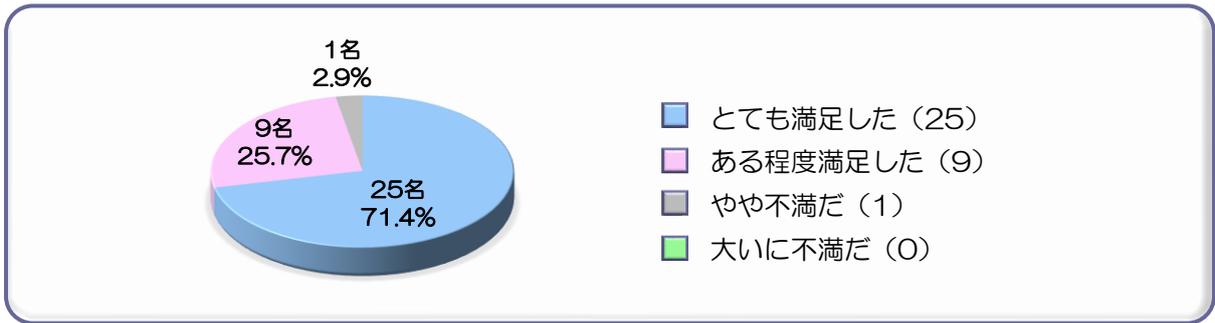
- 知らなかったことをたくさん知ることができた。
- 放射線について、特に処分・処理について、より詳しく理解することができた。
- 資料もあり分かりやすかった。
- 今後、参考になることを色々聞いた。
- 使用済み燃料の中間貯蔵施設では使用済みの燃料の放射線によってあつたかくなっているのい
がわかって驚いた。また、アメリシウムを高速増殖炉で燃やして処理できるようになっているのに驚
いた。
- 自分が以前からあつた疑問が解決できたため今回の講演は満足いくものであつた。
- 自分の考えを深くすることができたから。
- 今後の自分の研究に生かしたい。
- 放射線廃棄物の処理の仕様について詳しく知れたのでよかった。
- あまり、話し合いをする授業はないため、面白い講義であつた。
- 対話とマッチした内容でした。

- 分かりやすかったから。
- 今まで、放射線はどうするかや、どうしたらより安全に作業を進められるかを考えたことはあったのですが、まず稼働させるかさせないかを考えることはなかったため、考える良い機会になりました。今まで別の講義で学んできた放射線や原子力の知識とはまた違ったことを学べた。

[ある程度満足した]

- 放射線廃棄物の処理の方法や工程を知れたから。
- 処分方法や今後の課題について聞いた。日本と海外の違いなどが分かった。
- 資料に図が多く、大変に分かりやすかったです。地層処分以外の方法では処分できない理由が分かり良かったからです。
- 今まで別の講義で学んできた放射線や原子力の知識とはまた違ったことを学べた。
- 人体に大きな影響を与える高レベル放射線廃棄物の処分方法を中心に世界の現状や低レベル廃棄物の影響などと幅広い内容の話を伺うことができた。
- 放射線、原子力について詳しく知れた。
- 新しく得られた情報があった。
- 時間が足りなくてあまり深い話が聞けなかった。
- 普段きけない話がきけて良かった。
- 今回の講演は主に日本についてのテーマだったが、フィンランドのオンカロ処分場についても聴いてみたかった。
- 知らないことを知ることができた。

(2) 対話の内容は満足のものでしたか？その理由は？



[とても満足した]

- ・私達若い人が議論して、原発の再稼働に向けて頑張っていきたいと思った。
- ・疑問に感じていたことについてわかりやすく答えて頂けた。
- ・講義で疑問に思ったことを直接質問でき、良かったからです。
- ・自分が研究しているテーマと重ねて話し合いができたため。それに対する質問にも解答を頂けたのが参考になった。
- ・再稼働が良いという意見がいえなし、技術屋と政治家の”ギャップ”というのもわかった。また、どのようにして0%に近づけるか。0%はなんでならないか。確率の問題を話し合えてとても良い機会でした。
- ・自分と近い環境にある人たちの自分とは異なる意見を聞くことができ、自分の中で新たな見解を広めることができた。
- ・直接対話することで自分の意見を言えたため対話の内容は満足のものであった。
- ・さまざまな考えを共有でき、理解を深めることができたから。
- ・自分の研究に生かしたい。
- ・質問に対し答えがすぐに返ってくる。
- ・普段聞けないことが聞けたのでよかった。
- ・自分にない考えを取り入れることができ有意義な時間となった。
- ・原子力が地球環境に及ぼす影響をあまり分かっていなかったが、原子力発電を停止させることで石炭、天然ガス、石油による発電が増加する関係を知り、納得した。
- ・あまり関りのない方の意見を聞けたので。
- ・1人1人に聞きたいことを聞いて、それについてディベートできたから。
- ・とてもたくさんのお話を話し合うことができ、有意義なものであった。
- ・専門にしている方々と対話することができて、知識を深められた。
- ・知らなかった内容について知ることができた事と、放射線やエネルギーなどの専門的なことに詳しい方と話すことができたので、知識が広まったという事で満足できました。

[ある程度満足した]

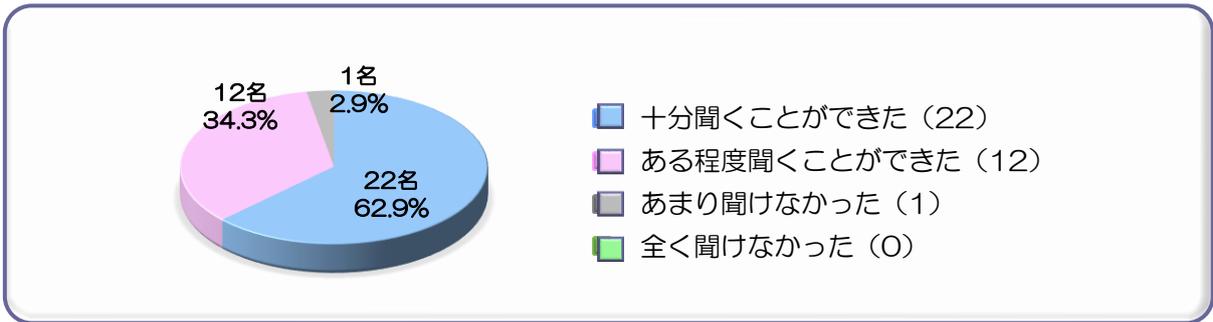
- ・自分が聞きたいことを聞けたし、興味深い話も聴けたから。
- ・質問に対して具体的な回答が得られた。
- ・進行が少し手際が悪かった。
- ・細かいところまで質問に答えて頂いたため。
- ・いろいろな意見があり良いしげきになった。

- しっかりと発言の機会があったから。
- 再稼働についていろいろきけた。

[やや不満だ]

- ”震災で発生した低濃度のがれき等は地面に埋めてしまえば大丈夫。”というまとめには考えさせられた。

(3) 事前に聞きたいと思っていたことは聞けましたか？



[十分に聞くことができた]

- ・津波がまたきた時の対策について聞けたから。
- ・質問して聞くことができたから。
- ・海外の原子力発電について知りたいと思っていたので、話を聞いて良かった。
- ・質問する機会を多く与えていただいたから。
- ・同じグループの生徒の質問と私のしたかった質問が同じだったので、一緒に話しを聞くことができて良かったからです。
- ・自分が研究しているテーマと重ねて話し合いができたため。それに対する質問にも解答を頂けたのが参考になった。
- ・再稼働が良いという意見をもっており、また、私が一番興味をもっている「再稼働とエネルギー問題」ということを対話ができ、とても良い機会だった。
- ・事前に聞きたいことについて回答をしてくださったため。
- ・自分の疑問が解消された。
- ・今現在の廃炉状況についてお話ができたので、大変良かった。
- ・1人1人に聞きたいと思っていることをまず聞いてから、シニアの方々が答えてくれたから。
- ・1人1人に聞きたいと思っていることをまず聞いてから、シニアの方々が答えてくれたから。

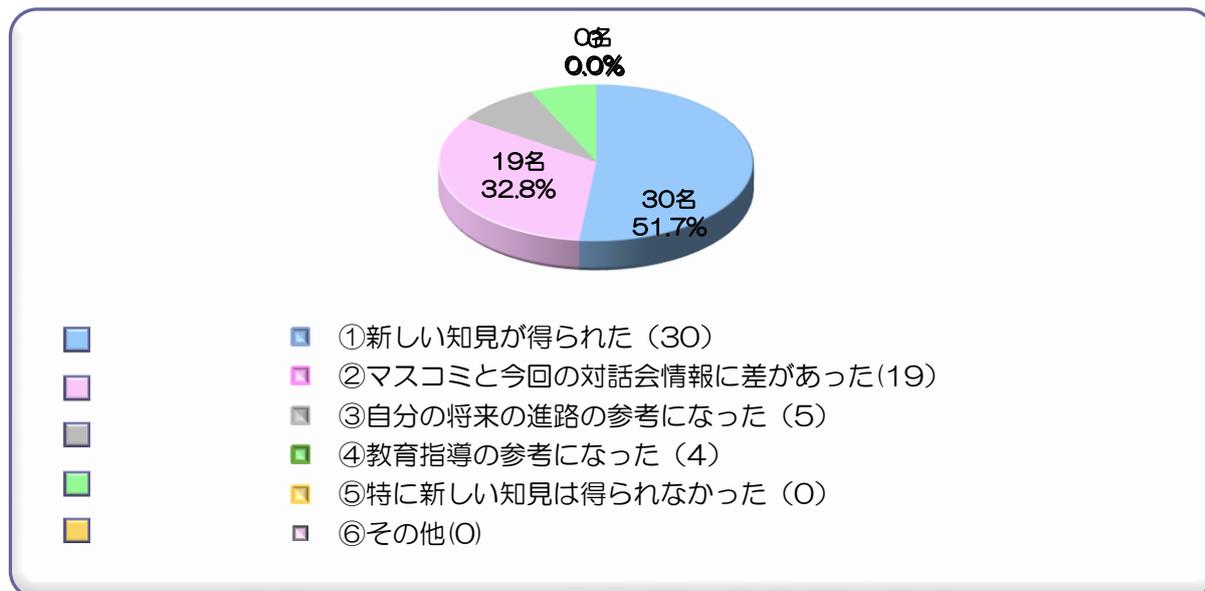
[ある程度聞くことができた]

- ・対話の時間が長かったため。
- ・自分の意見を話す機会を設けていただいたため。
- ・原子力の安全性は知れた。しかし、廃炉については廃棄物のことしか知れなかった。
- ・メディアを何とかしないといけないというのが自分だけの考えでないと知れた。
- ・メディアを何とかしないといけないというのが自分だけの考えでないと知れた。
- ・シニアの方の配慮が大きいのだと思います。
- ・

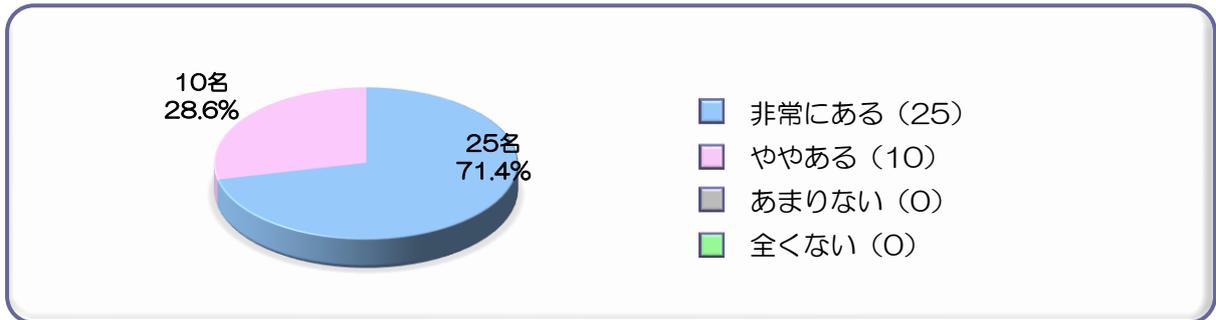
[あまり聞けなかった]

- ・うまく質問できなかった。

(4) 今回の対話で得られたことは何ですか？



(5)「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？その理由は？



[非常にある]

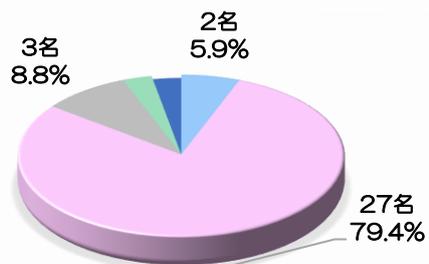
- ・若い世代である私達の将来のために、シニアとの方々との対話はとても良かった。
- ・知識を深められるから。
- ・現在と今までの知識や理解が深いシニアの方々のノウハウを、若い世代の人々に継ぐ機会が必要だと感じる。
- ・普段の講義では質問する機会が少ないため、対話をする機会をもうけて頂けてよかったと思う。
- ・日常生活ではなかなか聞くことができない、貴重な話が聞けたからです。
- ・非常に知識のあるシニアの方々から若い世代の私たちへ技術や考えなどをとても参考になるお話をきけたから。
- ・実際に働いていた、経験したことから話を聞けるため。
- ・シニアの方々の貴重な意見が多くあり、また、とてもおもしろい話がたくさんあったので、非常に良いと思う。
- ・個々の生の質問に対して、即座に答えてもらえる貴重な時間であった。
- ・ただ講演を聞くだけでなく直接話し合いができたため必要性を感じた。
- ・実際に原子力などに関わっていた方々の話は、とても貴重であり、ためになるから。
- ・原発事故に限ったことでなく、再生エネルギーのデメリットも知れた。
- ・理解を深めることができたから。
- ・知識豊富なシニアの人と対話して、新しい知識を多く得られた。
- ・自分達の疑問について答えてくれたため。
- ・学生の知らない情報が聞けるので、必要だと思う。
- ・なかなか原子力に関係のある方との話をする機会がないので、必要性はあるのではないかと感じた。
- ・学生では知ることが難しい過去の出来事や、専門的な知識を得ることができるため。
- ・知識が深い。よりほり下げた話をきくことができた。
- ・実際に体験すべきだと思います。
- ・対話という形をとることによって、自然と意見交換ができたから。
- ・学生は実際にそこで働いたことや、現場の人と話したことがないため、とても重要であり、必要だと感じた。

[ややある]

- ・学生はもちろん、一般の人も参加できるとな良いと思います。

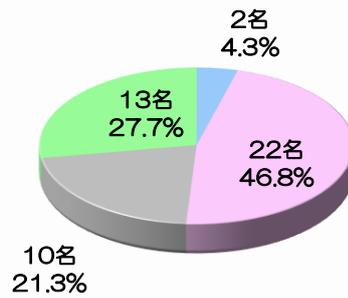
- 知らない知識を知ることができるため。
- 若い人の考えとシニアの考えの違いがよく分かる為。
- 実体験などが聞けた。
- メディアでは知ることのできないことが知れる。
- 持っている知識を伝えてもらえる。
- 自分たちとは違った目線の話がきけた。
- 知識を持っている方と対話することで理解を深めることができるため。

(6) 今後、機会があれば再度シニアとの対話に参加したいと思いますか？



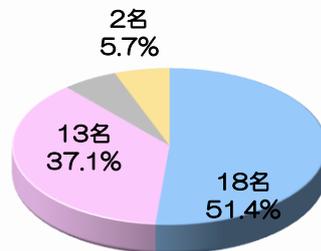
- まだまだ話したりないので参加したい (2)
- もっと知識を増やしてから参加したい (27)
- 十分話ができたらもういい (3)
- 二度も必要ないと思うからもういい (1)
- その他 (1)

(7) 放射線、放射能に対してどのようなイメージを持っていますか？（複数回答も可）



- ①放射線、放射能はやはり怖い (2)
- ②一定のレベルまでは恐れる必要はないと以前から知っていた (22)
- ③一定のレベルまでは恐れる必要がないことを講演、対話から理解できた (10)
- ④放射線、放射能は生活に有用であることを前から知っていた (13)

- (8) 日本のエネルギー政策では、原子力発電を基幹電力（2030年に発電電力量の20～22%）とし、省エネ・再エネ利用の拡大や火力の高効率化により、可能な限り削減していくとされています。対話も含めてあなたの認識は次のどれですか？その理由は？（複数回答も可）



- ①原子力発電の必要性を強く認識した。削減又は撤退すべきでない（18）
- ②原子力発電の必要性は分かっていたので、対話の前後で認識は変わらなかった（13）
- ③原子力発電の必要性は分かるが、やはり危ないから早期に削減又は撤退すべきだ（2）
- ④原子力発電を止め、再生可能エネルギーを最大限使えばよい（0）
- ⑤その他（2）

[① 原子力発電の必要性を強く認識した。削減又は撤退すべきでない]

- 原発は必須だと思うから。
- 原子力発電を使用しなければ、CO₂の削減は難しいと分かった。
- 原子力は非常に危険なエネルギーではあるが、より理解を深め、技術が上がればより安全にコントロール出来ると思う。
- 自分が思っているほど原子力は危ないものではないと思ったからです。
- この話しの前から感じていたが、原子力は絶対に必要である。
- 研究室の先生と一緒に再稼働のことも話すことがあったので、前から再稼働は良いと思っていたから。
- 危険性はあるものの、生活に必要な電気を供給するためには、必要な技術なのではないかと感じた。
- 原子力発電は事故が起こると危険だが、今現在は研究が進められているうえ、今後パリ協定などの目標を達成するためには原子力発電は必要だと思う。
- 原発事故が起きたときの危険性だけで判断せずに、原発の安全性の向上や、他の発電方法の効率、コスト、CO₂の排出料など、総合的に考えて。
- 地球温暖化について考えると、CO₂を減らすためには火力発電などのたくさんのCO₂を出す発電を少なくする必要がある。他の発電を増やす必要がある。再生可能エネルギー、原子力発電を増やす必要がある。再生エネルギーだけにするには発電効率、土地の問題があるため、現実可能ではない。
- 今回の対話でちがった考えにふれることができたから。
- 原子力はとても有能な発電方法であり、それを捨てるのはもったいないとも感じた。ただ、ある程度廃炉の技術も発展させる必要もあると感じた。

- エネルギーミックスのかねあいから。
- 原子力発電はデメリットだけではないため、効率的に使った方がよいと感じた。

[② 原子力発電の必要性は分かっていたので、対話の前後で認識は変わらなかった]

- 原子力発電に代わる発電方法はコストパフォーマンスなどの様々な面での効率が悪い。再生可能エネルギーなどの代替りの発電方法がしっかり確立するまでは原子力は必要であるとする。
- 今は必要であるけれど、そのうち再生可能エネルギーにうつりかえるべきだと考えるから
- ある程度の知識は持っていたため。
- コスト、効率を含めても原発はメリットが大きい。推進すべきではないかもしれないが、今は必要である。
- 原発の発電量は再生可能エネルギーに比べて非常に大きいから。
- 震災後、原子力発電が削減した際、特定の地域で計画停電を行ったことにより、原子力なしでは全ての電力をまかなうことがむずかしいと思ったため。
- 原子力がなくなっている量を正直に考えると、脱原発を言っている人たちの考えが分からない。原発を無くして何で発電するか聞きたい。いわき駅前でもやっているのが悲しくなる。

[③ 原子力発電の必要性は分かるが、やはり危ないから早期に削減又は撤廃すべきだ]

- 資源は有限なので将来的にはやめなくてははいけないから。
- 可能な限りは、火力や水力、再生可能エネルギーで発電したほうがよい。原子力は必要だが事故の際30～40年近くの時間がかかる。

[⑤ その他]

- 原子力発電を少なくしていくことは必要であるが、再生可能エネルギーを最大限使うつもりでお金をつかっていくべきだと思う。
- 決定する、きめうちするのではなく柔軟に対応すべき。
-

(9) 本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。

- ・私達がもっと将来のために頑張っていきたい。
 - ・このような対話の機会になかなか得られないと思うので、とても良い経験になったと思う。長年、原子力に携わってきた人達の知識や知見に触れることで、もっと勉強する必要があると思った。
 - ・自分たちが理解した原子力の必要性や安全性を、より多くの人々に知ってもらおう事で、原発再稼働に近づけると思う。
 - ・「学生とシニアの対話」の時間は、私たちの世代の人にとって大切な時間だと思いました。
 - ・様々な知識を得ることができて良かった。
 - ・これから若い世代の私達がすすんで第一原発の廃炉へ向けてがんばりたいです。さらに原子力、放射線についての知識を深めていきたいなと思いました。
 - ・高レベル放射線物質の処置方法や、将来のエネルギー供給について理解を深められた。今後は低レベルについての解析や海外の原子力の現状、原子力の未来などについて理解を深めたい。
 - ・講演でより理解を深められ、対話することによって講演の内容を噛みくだくようにし理解を深められた。今後は、この講演で学んだことについてより理解を深め、勉学に励んでいきたい。
 - ・今回の企画で得られた知識を家族や周りの人達に伝えていきたい。
 - ・メディアでは知ることのできない情報を知ることができ、とても貴重な経験になった。
 - ・マスコミは事故や事件しか報道しないと聞いて、なるほどと思った。報道されていないことも伝えていきたいと思った。
 - ・新しい知識を身につけることで、正しい選択につながるため、とても良い企画だったと思った。
 - ・

- ・何事に対しても”しっかりメンテナンス・管理すれば大丈夫”、”しっかり遮蔽すれば大丈夫”というまとめだったが、それが出来ていればこめめでトラブルは起きていなかったと思う。